

給食だより

令和7年度 1月号

氷見市学校給食センター

◇毎月19日は、「食育の日」です。食事作りに係わる人に感謝の気持ちを伝えましょう。

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。
年末年始は楽しく過ごせましたか。少し休みが続きました。早起き、朝ごはん、そして夜は早めに休んで生活リズムを早く“通常モード”に戻しましょう。これからは寒い日が続きます。食事前の石けんでの手洗いをしっかり行い、栄養のバランスもよく考えて食べて元気に過ごしましょう。

6 手を洗おう



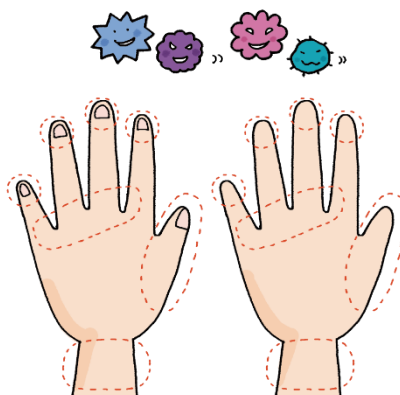
食育ピクトグラム⑥ 手を洗おう

手洗いの目的は、手の汚れを洗い落として清潔にすることです。手はいろいろなものに触れるので、目に見える汚れだけではなく、細菌やウイルスがついていることがあります。手洗い
の方法を確認してみましょう。

せっけんを使った手洗い



細菌やウイルスなどを体の中に入れないためにも、せっけんを使ってよく手を洗いましょう。右図のように、**指先や指と指の間、親指や手首**は洗い残しやすいところなので、特に注意して洗うようにします。



手をふくのはタオルかハンカチで！



皮膚や髪の毛には細菌

などがついていて、その中には食中毒の原因菌がいる場合もあります。

手洗いの後に髪の毛や服を触ったら、手洗いの効果がありません。

1月24日～30日は

全国学校給食週間

学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割についての理解を深めて、関心を高めるための1週間です。

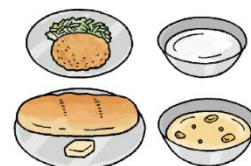
～日本の学校給食の歴史～

明治22年



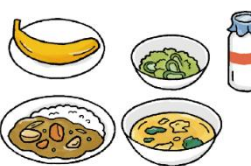
明治22年に山形県鶴岡町の忠愛小学校で、貧しい家庭の子どもたちに昼食を提供されたことが給食の始まりとされています。

昭和25年



戦後、子どもたちの栄養を改善しようとアメリカから送られた物資を使い、給食が再開されました。昭和21年12月24日に贈呈式が行われたことを記念してこの日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25年度からは、1月24日から30日の1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

昭和52年



アメリカから寄贈された小麦粉・脱脂粉乳を使い、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が実施されました。

昭和29年には、「学校給食法」が制定され、教育活動として実施されることになりました。

昭和40年頃には、脱脂粉乳から牛乳へ切り替わりました。昭和51年から米飯給食が導入されました。

今年の学校給食週間、氷見市では「未来に向かって～プレイバック昭和100年～」をテーマとし、給食を通して昭和を振り返ります。また、世界自然保護基金が発表した「未来の食材」を使用した献立も予定しています。

ご家庭でも、給食について食卓の話題にしてみてください。

